

スタンディング、プaster、ICレコーダー 12日の宣伝 コロナ禍で街頭から訴え

毎月第2金曜の近畿いっせい宣伝は、大阪・兵庫・京都で緊急事態宣言が発出されている下で、「近畿いっせい」としては行いませんでしたが、12日、感染防止策をとりながら宣伝行動が積極的に取り組まれました。

大阪市城東区の鳴野駅前、桜小橋交差点では清水ただし衆院議員（近畿比例・大阪4区）の声をICレコーダーで流しプasterを掲げてスタンディングしました。（写真は桜小橋交差点）

滋賀県大津市の京阪・びわ湖浜大津駅前では通行者から少し離れた場所で節木三千代県議、柏木敬友子市議が党支部・後援会の人たちと宣伝。節木氏が森喜朗氏の女性蔑視発言を厳しく批判し、「日本共産党が綱領に掲げているジェンダー平等社会実現へ全力をあげる」と訴えました。



奈良 60カ所142人がいっせい宣伝

奈良では総選挙と今夏の奈良市議選をにらんでの政党間の宣伝戦が激しくなっています。県委員会は12日、いっせい宣伝を提起し、60カ所で28%の支部、142人、36議員が参加し、「近畿民報」など2470枚を配布しました。

近鉄・大和西大寺駅前では谷川かずひろ衆院候補（1区）とますい隆志市議予定候補（新）が宣伝。「小さいころから共産党を応援している。天下を取ってください」と激励されました。宮本次郎衆院2区候補は斑鳩町のJR法隆寺駅北口で木沢正男町議と宣伝。「いよいよ総選挙だね。頑張る」と声をかけられました。近鉄佐味田川駅（北葛城郡河合町）では夫婦が日曜版の購読を申し込みました。

近畿比例・こむらさん、西田さん訴え

「近畿比例4議席絶対回復、近畿から12年ぶりの女性衆院議員を」と、奈良県女性後援会は1月24日、2月11日、女性宣伝を行い、こむら潤、西田さえ子両比例候補が訴えました。

こむらさんは11日、奈良1区地域の4カ所で街宣。「菅内閣はコロナ感染拡大に無為無策。市民と野党の共闘



で政権交代を実現させましょう」と訴え、大きな拍手が起こりました。

西田さんは1月24日、2区地域の2カ所で訴え、「消費税増税はコロナ以前から日本経済を直撃している。消費税は5%に」と訴えました。

こむらさん議員辞職 こむら潤さんは1月末で尼崎市議（1期）を辞職。衆院予定候補の活動に専念することになりました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 9(2021.2.15)